

研究員報告

今、ホットな大三島

(公財)えひめ地域政策研究センター 研究員 中川 裕貴

(公財)えひめ地域政策研究センターでは、財団設立以来、地域課題解決型の「地域政策研究セミナー」を毎年開催しています。今年度は12月1日に愛媛大学で開催し、多くの方にご来場いただきました。今回は建築家の伊東豊雄氏を始め、県内外でご活躍されている方々にご登壇いただき、地域活性化について熱い議論が交わされました。

今、大三島が熱い!!

今回のセミナーでは、今治市大三島がスポーツを浴びました。大三島は現在、人口約6000人が住んでおり、瀬戸内海で5番目に大きな島です。島の中心部にある大山祇神社は日本総領守とも呼ばれ、「神の島」としても知られています。瀬戸内の島々が織りなす風景はまさに絶景であり、最近ではサイクリストもよく訪れるようになりました。気候は温暖であり、みかんを中心に農業が盛んな島でもあります。

そのような大三島には、地域を盛り上げようと、おもしろい取組みをされている方が多くいらっしゃいます。今回セミナーにご登壇いただいた、大三島みんな

のワイナリーの川田佑輔氏もその中の一人です。大三島みんなのワイナリーは、農家の高齢化などで耕作放棄地となっている大三島のみかん畑を、ワイナリーの葡萄畑として蘇らせるプロジェクトです。

みんなのワイナリーで運営事務局長を務める川田氏は、社会人生活を一度中断してワインが学べる山梨大学に入学され、在学中に大三島を訪問したことがきっかけで平成27年6月に移住し、ワイナリーづくりへの道を踏み出されました。

葡萄作りは苦勞の連続。獣害等の困難を乗り越えながら、平成29年9月に葡萄の収穫祭を行い、平成30年1月には赤ワイン「島紅」のお披露目会が行われました。今年は1800本の完成を見込んでおり、平成31年1月頃のお披露目を予定しているそうです。

他にも多くの方がワイナリー作りに関わっていらっしゃいます。地元の人たちからの応援も受け、今では支援者500人以上の大プロジェクトへと成長を遂げています。今後、出荷されるワインが楽しみです。

そんなワインが楽しめる場が、「大三島

みんなの家」。昭和58年まで松山地方事務局の出張所であった建物を改修した、趣ある場所です。

大三島には他にも数多くの魅力溢れるスポットがあります。是非皆さんも足を運んでみてはいかがでしょうか？



多々羅大橋と大三島